



# nara marathon 2024

## 奈良マラソン2024 スポンサーの横顔

平城遷都1300年を記念して始まった「奈良マラソン」。今年、第15回を迎える同大会は多くのスポンサーの皆様を支えられています。メインおよびサブメンスポンサーの皆様と奈良マラソンとの関わりの一部を「スポンサーの横顔」として紹介いたします。

### 奈良県オールトヨタ (奈良トヨタ、奈良トヨペット×ネットトヨタ奈良、トヨタレンタリース奈良、トヨタモビリティパーツ奈良支社)

#### 良き企業市民へ 事業活動“先導”

ドライブの楽しさを伝える車の数々を世に送り出すとともに、「良き企業市民」を目指し、豊かな社会づくりとその持続的な発展のため積極的に事業活動を進めるトヨタ。奈良マラソンには、奈良トヨタ、奈良トヨペット×ネットトヨタ奈良、トヨタレンタリース奈良、トヨタモビリティパーツ奈良支社の合計4社で奈良県オールトヨタとしてメイン協賛をしている。この4社は以前より社会貢献や、地元イベントへの協賛などを行っている。2021年の7月27日には、奈良県オールトヨタより、奈良県に燃料電池自動車MIRAIを寄贈した。同月31日にはイオンモール大和郡山にて、奈良工業高等専門学校と共催で水素普及啓発イベント「脱炭素を実現する夢の水素エネルギー」を開催した。今年も、8月22日にイオンモール大和郡山で奈良県主催の水素を題材とした化学教室「電池の仕組みを探ろう」を奈良工業高等専門学校と一緒に協力として4年連続で参加するなど奈良県オールトヨタとして環境にやさしいエネルギーの普及啓発にも積極的に努めている。奈良マラソンの当日は、奈良県オールトヨタよりハイブリッドカーなど5台が先導車としてコースを走ることにしている。また、スポンサーエリアの奈良県オールトヨタブースでは車両展示などが行なわれる。



2021年7月27日の燃料電池自動車MIRAIの寄贈の様子

### 第一生命保険株式会社

#### 「Run with You」奈良マラソンで地域活性化に貢献!

第一生命は、一人ひとりが、長い人生を健やかに、心豊かに歩んでいただく重要性を考え、皆さまの多様な幸せの実現に貢献するための様々な取組みを進めており、その一つとして2015年に「Run with You」プロジェクトを立ち上げ、2016年から奈良マラソンに協賛しています。エリアを代表する全国の市民マラソン大会に協賛することで、全国のランナーの皆さまを応援するとともに、地域の活性化にも取り組んでおります

また、第一生命奈良支社では「お客さまと地域社会の期待を超えるオンリーワンの存在になる」をスローガンに掲げ、この11月には第一生命グループ女子陸上競技部の元選手を講師に、平城宮跡歴史公園で「ランニング教室」を開催しました。スポーツの分野以外でも県下の小学校・中学校・高校にて金融リテラシー教育の一環として、当社が開発した消費者・金融保険知識をすぐろく形式のゲームで学ぶことができる「ライフサイクルゲームIII～生涯設計のススメ～」を出張授業形式で実施する等、今まで以上に地域の皆さまとの結びつきを強化し健康づくりや地域活性化に貢献してまいります。



### 村本建設株式会社

#### 地域社会とともに歩む

村本建設は創業の地である奈良県において、地域の発展と社会貢献を目指して奈良マラソンの協賛を続けている。村本建設は、道路・トンネル・橋・下水道など人々の生活の基盤となるインフラ整備、学校・病院・オフィス・マンションなど人々が安全で安心に暮らすためのものづくりを全国で行っている。地域社会とともに歩み、持続可能な未来を築くことを志し、奈良マラソンを通じて、地域の健康づくりと交流を促進している。

奈良マラソンでは、毎年、給水ボランティアやブースを通じてランナーの皆さんをサポート。今年からブースも拡がり、「巨大絵馬で走祈願&おみくじで運試し!」企画やグッズ販売も行い、大会を盛り上げる。

村本建設は、これからも全国から参加するランナーの皆さんを心から応援し、奈良マラソンを通じて地域社会との絆を深め、健康と活力ある社会の実現に貢献していく。私たちは地域社会とともに成長し、持続可能な未来を築くために、引き続き努力していく。



### JAグループ奈良

#### 地域活性化願いランナーを応援

JAグループ奈良 (JAならけん、JA共済連奈良、JA奈良中央会) では、地域を活性化し奈良を盛り上げたいとの願いから、第1回「奈良マラソン2010」から大会の応援を続けている。奈良マラソンを支え続ける背景には、健康を支える食、食を担う農との思いがある。健康・食・農の3つの要素をつなげ、地域の元気や持続可能性を支えたいとのJAならけんの願いでもある。昨年の2023年大会では大会の名物ともなっている豚汁の販売が4年ぶりに実施され、全国から集まるランナーたちが楽しみにしていた豚汁を味わった。今年も昨年に引き続き、豚汁の販売、大和茶の販売と試飲も実施され、ランナーは勿論会場にお越しになるお客様をおもてなししてくれる。

JAならけんは「安全な食料供給と豊かな農業・農村づくり」

「活力ある地域社会づくり」「期待と信頼に応えるJAづくり」を経営理念としている。近年は令和6年能登半島地震をはじめ毎年のように大規模な自然災害が発生しており、被害からの一日も早い復旧・復興に向けて、JAならけんをはじめ、JAグループが一丸となった様々な支援の取り組みを展開しているが、こうした助け合いの力は地域社会にとって欠かすことができない。JAならけんは、相互扶助(助け合い)の精神の下、組合員のくらしへの貢献や地域社会における生活基盤・コミュニティの維持・発展を通じた地域活性化に向けて、行政や地域課題の解決に取り組む他の協同組合・団体等と連携し、地域に根ざした協同組合としての役割発揮に取り組む。



県産野菜がたっぷり自家製、豚汁、を販売するJAグループ奈良のスタッフ(2023大会より)

### 株式会社中谷本舗

#### 奈良吉野伝統の味をお届け

全国で10店舗以上を展開する柿の葉寿司の老舗、(株)中谷本舗。田原本町の唐古・鍵遺跡の隣に工場と店舗を保有している。柿の葉寿司は、吉野地域に住む人々にとって、代々受け継ぐふるさと味。その味を守り、奈良から全国へと更なる発展を目指している。

大正10年、奈良県吉野大台ケ原・上北山村に、中谷勘市郎が創業した中谷商店は、林業者を支える米屋として誕生。当初から米へのこだわりは強く、妻キクエの炊くふっくらとしたご飯は評判で「おにぎりにしてもおいしい」と人気だった。米屋のかたわら寿司の商品化も早く、戦後には惣菜、おにぎりなども手掛けるようになった。中谷本舗の出発点と言える自慢の米は、奈良県内だけでなく、東京駅グランスタ内の「笹八」をはじめ、百

貨店内「あざさ」売場でも購入が可能。

米の炊き方は、創業以来変わらず、ふっくらとしながら魚や葉の風味をたっぷり吸った旨味加減や口付けの良さが自慢。当日ブースで販売する柿の葉寿司は、県外ランナーのお土産として毎年人気が高く、喜ばれている。

また2021年からは給水所での提供が行われ、ランナーの疲れた身体を癒やしている。

中谷昌紀社長は「奈良マラソンは県を代表する大きなイベント。ランナーの方はもちろん、ご来場者の方々に少しでもお役に立てれば…」と話す。



県外の方にも認知度が高く、人気商品は早々に完売